

# みみタロウ

日本語版

95号 2012年8月

滋賀県国際協会 ボランティアグループ「みみタロウ」  
大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2F

Tel/Fax : 077-523-5646

E-mail : mimitaro@s-i-a.or.jp

URL : http://www.s-i-a.or.jp

## 広がれ、子育ての輪！

ひろがれ、こぞでのわ

湖南省にある水戸保育園には、ブラジル、ペルー、フィリピン、中国などの約20名の外国籍の子ども達が在籍しています。今回みみタロウは、水戸保育園の下村照子園長とポルトガル語通訳の菊永眞理さんにインタビューしました。



菊永さんと下村園長

下村園長：水戸保育園の園長になって4年になります。子どもが好きでなる保育士ですが、子どもや保護者や他の職員など様々な人との関わりの中で、自分自身も成長することができ、

人と社会につながっていくとてもやりがいのある仕事です。保育園には、外国籍の子や、障害があったり、育ちの中でしんどい子など様々な子どもがいますが、私たちは、どの子ども大切に育てていきたい、という強い思いを持って仕事をしています。しかし、保育士は子育ての専門家であっても、すべての保護者といつもうまく理解し合える場合ばかりではありません。そのような時には、それではどうしたら信頼し、理解していただけるだろうかと皆で話し合っ、常に前向きに模索することにしています。そしてお便りや懇談会でお話しして理解していただいたり、保護者の悩みをお聞きして子育てを応援したり、さらには、外部の方々との交流を通して保育の理解の輪が広がるように頑張っています。

外国籍といっても子どもたちは様々で、日本語のできない子どもできる子もいます。言葉が通じないと、最初は緊張して壁を作ってしまうがちになりますが、こちらが壁を作らず、同じ目線がかかわると、子どもは受け入れてもらっているという感覚を得て通じ合うことができます。ただ、外国籍の子どもたちは、保育園では日本語、家では母国語という生活をしていて、頭の中は、きっとこんがらがっているのだらうと思うと心が痛みます。「まだ小さいから大丈夫」ではなく、「小さいからこそしんどい」ということもあります。これから先、いろいろな事を考えて生きていくための大切な言葉をどうするか、というのは子どもの人権に関わる大きな問題です。子どもたちは、保育園で過ごす時間が長く、どんどん日本語中心の生活になっていくので、育ちの中で母国語をどうしたら残してあげられるのか、というのは大変難しいところです。日本語は、今、きちんと獲得しておけば、次の小学校ばかりでなく、中学校、高校、大学まで確実に繋がっていきます。しかしもし母国に帰る予定があるなら、保護者の方には、母国語の教育にも気を配っていただきたいと思っています。子どもによって通訳がで

きる程の子もいれば、どちらの言葉も中途半端になってしまう子もいるので、大変デリケートなテーマです。園内の研究会でも話し合っていますが、遊びの中で学んでいく言葉を通して、保育園でどう活動を広げていけばよいのかを試行錯誤しながら取り組んでいるところです。

子どもは色々な人との関わりの中で育っていき、その中で様々な体験をします。どの親も自分の子どもが大切なのは当然ですが、「うちの子だけ良ければいい」というようないきすぎた意識を持つと、子どもの素直な成長を妨げることとなります。このため、そのような心の枠をはずして、どの子も同じよう



に大切に思う心を広げていきたいと考えており、懇談会やおやこれくりえーしょんなどを通して、保育士、保護者同士、

そして子どもたちがお互いに触れ合う機会を持っています。この間は綱引きをして、外国籍の親御さんも大活躍でしたよ！また、年に一回、「外国籍の保護者さんとの交流会」も開催し、みんなでおいぎりを作ったり、持ってきてくださった母国の料理と一緒に食べながら、お互いの童歌を歌ったり踊ったりして楽しく過ごします。そうした交流を通じて安心感を持ってくださることで、園と保護者だけでなく、保護者と子どもとの関わりも変わってくるのではないかと思っています。通訳の菊永さんもいますし、困ったことなどあれば、何でも気軽に私たちに言ってください。そして、この水戸保育園で育った子どもたちが「大きくなったら、保育士さんになりたいなあ」と思うようになれば最高にうれしいです。そんな居心地のよい保育園であるように願っています。

菊永さん：保育士さんと一緒に家庭訪問に行って「どんなお子さんに育ってほしい？」と保護者に訊ねると、「子どもにはしっかり日本語を覚えてほしい。私たちは日本語を読めないし書けないので、よろしく願います」という答えがよく返ってきます。それで、保護者の期待に応えていけるように、保育園ではなるべく日本語で子どもたちと接しています。

とても素敵な子どもばかり！  
大好きですよ！

